



平成 30 年 1 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社ホテル、ニューグランド
代表者名 代表取締役社長 濱田 賢治
(JASDAQコード 9720)
問合せ先 取締役経理部長 岸 晴記
電話番号 045-681-1841

資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 30 年 2 月 22 日に開催予定の第 140 回定時株主総会に資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分について付議することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

当社は、現在生じている繰越利益剰余金の欠損額を填補し、財務体質の健全化を図るとともに、今後の柔軟かつ機動的な資本政策の展開を可能とするため、会社法第 447 条第 1 項及び会社法第 448 条第 1 項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額を減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに会社法第 452 条の規定に基づく剰余金の処分を行うことといたしました。

2. 資本金の額の減少の内容

資本金の額 3,455,000,000 円を 1,455,000,000 円減少、その減少額全額をその他資本剰余金に以下のとおり振り替えるものです。

- | | |
|------------------|-----------------|
| ① 減少する資本金の額 | 1,455,000,000 円 |
| ② 増加するその他資本剰余金の額 | 1,455,000,000 円 |
| ③ 減少後の資本金の額 | 2,000,000,000 円 |
| ④ 効力発生日 | 平成 30 年 3 月 1 日 |

3. 資本準備金の額の減少の内容

資本準備金の額 900,000,000 円を全額減少し、その他資本剰余金に以下のとおり振り替えるものです。

- | | |
|------------------|-----------------|
| ① 減少する資本準備金の額 | 900,000,000 円 |
| ② 増加するその他資本剰余金の額 | 900,000,000 円 |
| ③ 減少後の資本準備金の額 | 0 円 |
| ④ 効力発生日 | 平成 30 年 3 月 1 日 |

4. 剰余金の処分の内容

会社法第 452 条の規定に基づき、上記 2 の資本金の額の減少及び上記 3 の資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、以下のとおり、上記 2 及び 3 による増加後のその他資本剰余金の一部を減少し、欠損補填に充てるため、繰越利益剰余金に振り替えるものであります。

- ① 減少するその他資本剰余金の額 4,092,892,366 円
- ② 増加する繰越利益剰余金の額 4,092,892,366 円
- ③ 減少後のその他資本剰余金の額 319,648,901 円
- ④ 増加後の繰越利益剰余金の額 0 円
- ⑤ 剰余金の処分が効力を生ずる日 平成 30 年 3 月 1 日

5. 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分後の純資産の部

(単位：円)

	処分前残高	増加額	減少額	処分後残高
資本金	3,455,000,000	—	1,455,000,000	2,000,000,000
資本準備金	900,000,000	—	900,000,000	0
その他資本剰余金	2,057,541,267	2,355,000,000	4,092,892,366	319,648,901
繰越利益剰余金	△4,092,892,366	4,092,892,366	—	0

6. 今後の日程 (予定)

- ① 取締役会決議日 平成 30 年 1 月 22 日
- ② 債権者異議申述公告日 平成 30 年 1 月 25 日
- ③ 定時株主総会決議日 平成 30 年 2 月 22 日
- ④ 債権者異議申述最終期日 平成 30 年 2 月 28 日
- ⑤ 効力発生日 平成 30 年 3 月 1 日

7. 今後の見通し

本件は、純資産の部における勘定科目間の振替処理であり、当社の純資産額に変動はなく、業績に与える影響はございません。なお、本件は平成 30 年 2 月 22 日開催予定の第 140 回定時株主総会において、承認可決されることを条件といたします。

以 上